



令和5年11月10日

(議 員 名) 小笠原 浩

調査研究, 要請・陳情実施報告書

下記のとおり実施したので報告します。

1. 期 間 令和 5 年 1 1 月 9 日 (木曜日) から
令和 5 年 1 1 月 9 日 (木曜日) まで
2. 視 察 先 東京都千代田区霞が関 2-1-3
(要請・陳情) 国土交通省港湾局 港湾経済課課長補佐 服部 理 様
高度化対策係長 利田 将人 様
3. 参加議員名

4. 調査研究, 要請・陳情の概要

国土交通省 港湾局 港湾経済課 服部 課長補佐・利田 係長を訪問・面会をし、本市港湾行政の課題である、カーボンニュートラルポート形成と物流の 2024 年問題を見据えた RORO 船の誘致についての国土交通省の方向性などの説明を受けた。

瀬戸内海沿岸地域には、多くの重要な港湾が存在し、カーボンニュートラルポート形成においては、その港の特徴を出すことが重要であると感じた。また、他港湾に負けないスピード感を持って取組んでいく必要があると強く思った。

物流の 2024 年問題を見据えた RORO 船航路の誘致就航については、その地域に存在をする企業、また、陸上輸送における交通の利便性、並びに、海上航路の安全性が重要な条件である。坂出港は、上記の RORO 船就航の重要な条件に合致しており、坂出港の持つ優位性を活かして、早急なポートセールスを行うことが必要であると強く感じた。

最後に、服部 課長補佐・利田 係長に対して、坂出港の発展並びにニューポートプランの成功の為には、カーボンニュートラルポート形成と RORO 船定期航路の復活と上り便の誘致が必須課題であることの説明と坂出港に対するご尽力のお願いを口頭で行った。

※ 要請・陳情先は相手先の所属・職名・氏名を記入して下さい。